

1 事業概要

		課名	商業・市街地活性化課	事業No.	230
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		2	飯田市への人の流れをつくる	
	分野別計画			第2期飯田市中心市街地活性化基本計画	
法令・例規等			中心市街地の活性化に関する法律		
事業目的	対象	中心市街地			
	意図	活性化のための事業が展開され、中心市街地の魅力が向上し、来訪者が増加する			

2 事業内容

30年度取組	取組内容	経費の内容			事業費(千円)
	<p>第2期飯田市中心市街地活性化基本計画に基づく事業実施及び進行管理を飯田市中心市街地活性化協会と連携しながら取り組みました。</p> <p>賑わいイベントの開催及び、日常の賑わいづくりに寄与するまちなか回遊促進事業を実施しました。</p> <p>電気小型バスの実証運行を効果的に進めました。また、駅前大型商業施設の閉店に伴う、買い物支援便として試験的運行にも取り組みました。</p> <p>明治大学との共同研究では、裏界線の可能性について取り組みました。</p> <p>次期中心市街地活性化基本計画の策定を開始しました。</p>	中心市街地活性化協会負担金			1,400
次期中活計画策定業務				1,574	
まちなか回遊促進事業				120	
明治大学との共同研究事業				150	
電気小型バス運行业務				2,339	
その他の経費				1,842	

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			実績	実績	実績		
	第2期中活計画に基づく事業の着手数	件	54	55	56		
	次期中活計画策定のための検討会議数	回	0	0	9		
	電気小型バス運行便数	便	1,080	744	936		
	まちなか賑わいづくり事業実施回数	回	2	2	2		
	明治大学との共同研究事業数	回			2		

30年度決算(千円)	予算額		10,557	特定財源内訳及び補足事項			
	決算額		7,425	(国) 社会資本整備総合交付金 (4.5/10)			
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) ふるさと寄附金			
		県支出金	0	30→1 繰越明許費 1,979千円			
		地方債	0				
		その他	165				
一般財源		7,260					

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大	中	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
					事業	事業			
1	1	7	1	6	13	14	7,791	5,086	中心市街地活性化事業推進事務費
2	1	7	1	6	13	22	2,766	2,339	電気小型バス実証運行业務費
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	第2期飯田市中心市街地活性化基本計画の進行状況について協会から意見を頂きました。また、協会の実施する事業に主体的に関わり、それぞれの事業で成果を上げることができました。次期計画策定においては、中心市街地関係3地区の将来構想と歩調を合わせながら策定に着手しています。まずは「飯田丘のまち会議」による市民会議において中心拠点の将来像を共有し合い、多様な主体の協働により実効性のある事業の検討を進めます。
上記の課題解決のための有効策	飯田市中心市街地活性化協会の事務局である飯田商工会議所、飯田まちづくりカンパニー、市が連携を取りつつ、市民・団体がより主体的に取り組むよう働きかけることが大切です。
次年度に向けての取り組み	飯田の中心市街地、圏域の中心拠点としての魅力向上を目指し、2020年内閣府認定を目途として、市民や関係団体等による共創の場において、次期中心市街地活性化基本計画の策定を進めていきます。